



購読料 年8,000円  
送料共 但し、会員  
は会費に含まれる

発行所  
京都府保険医協会  
〒604-8162  
京都市中京区烏丸通蛸薬師  
上ル七観音町637 第41長栄  
カーニープレイス四條烏丸6階  
電話 (075) 212-8877  
FAX (075) 212-0707  
編集発行人 久保 佐世



特集  
福知山千載  
会員投稿  
忘れ得ぬ症例  
訪問診療あれこれ  
(1・4・6面)  
(2・4面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
  - ◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
  - ◆針刺し事故等補償プラン
  - ◆自動車保険・火災保険
- ☎075-212-0303

## 福知山城

土佐 征英(福知山)

中国攻めに向かった明智光秀が、1579年丹波国を平定した折に築城したもので、1871年に廃城されるまで三重四階建ての天守閣をもつ平山城であったといわれています。1985年に大天守閣を持つ現在の福知山城が復元され、福知山市郷土資料館として使用されています。周囲には福知山市佐藤太清記念美術館もあり、市民の憩いの場となっています。

# 残暑お見舞い申し上げます

2013年 夏 京都府保険医協会 理事者・事務局一同

## 丹後の海

谷口 謙 (北丹)

山から駆け下り  
海  
初めて見た人  
人々は海の広さ  
深さ 白浪  
その眺望に打ちこんだ  
海は果てしなく無限  
白く蒼く続いている  
永い年月が流れ  
時は通過  
海は暮らしのなかに入り  
さりげなく未来へ続いた  
海に白い浪が触れ  
海は永遠の平和を象徴した  
だが  
海は今 混迷している  
海は人々の前  
本来の姿を見せぬ  
しかし 今こそ  
海は丹後の象徴ではなからうか

特集 地域紹介 シリーズ8

福知山千載



梅雨の晴れ間の日さしがまばゆい6月3日、地域紹介シリーズ第8弾となる座談会を福知山市内で開催。出席者は福知山医師会から高尾嘉興氏、牧野吉秀氏、井土昇氏、富士原正人氏、渡邊功氏、吉河正人協会理事、ゲストに福知山史談会会長の山口正世司氏をお招きした。

福知山城と明智光秀(講演概略)

福知山城は、福知山市の横山丘陵先端の地形を利用して築かれた平山城。東に由良川、土師川、法川と自然の濠にかこまれており、西と南北に武家屋敷と堀をめぐらして城の守りを固めていた。1579(天正7)年、この地を支配していた有力豪族である堀見信房(横山信房ともいう)の本城となる横山城を明智光秀が攻略。その地に城郭を築き、城名を福智山城とした。なお、「福知山」と改名したのは、1669(寛文9)年に移封された朽木家5代目藩主によるもの。

福知山城の天守台から本丸にかけての石垣には、多くの五輪塔や宝篋印塔、石仏、燈籠などの転用がみられる。光秀が築いた城は、現在重要文化財に指定されている。石垣は、現在重要文化財に指定されている。石垣は、現在重要文化財に指定されている。石垣は、現在重要文化財に指定されている。

いまも続く 光秀への恨み

井土 先祖の墓石を取られたわけだから、そうした地域に住む人は光秀のことを恨んでいる人たちがいると思います。光秀を祀る御霊神社には行きたくないという人もいますし、寄付を募られても絶対に出不さないという人もいます。これまで、福知山側について



山口 正世司氏 (福知山史談会会長)

福知山城の天守台から本丸にかけての石垣には、多くの五輪塔や宝篋印塔、石仏、燈籠などの転用がみられる。光秀が築いた城は、現在重要文化財に指定されている。石垣は、現在重要文化財に指定されている。

元々の住民の墓をあばいて石垣にするようなひどいことをする武将ではない、と思っておられるのです。歴史的にみて、一般の庶民が墓をつくるようになるのは元禄(江戸時代中期)以降のことです。それ以前に墓をつくっていたのは山

さまざまなかたち 光秀像

福知山城の観光ガイドで、大阪から来られたご夫婦を案内したとき、怒られた経験があります。城の石垣は墓をつぶして造ったものであることを説明したところ、旦那さんの顔色が変わりました。光秀は地



井土 昇氏

福知山の医療・歴史と現状

吉河 まだまだ興味はつきないかと思いますが、福知山の医療について話を移していきたいと思

福知山は医療分野においても非常に伝統のあるところ。福知山医師会は100年以上の歴史を持っています。これから全京都に福知山の医療を印象つけていっていただくようなお話を伺いたいと思います。

福知山史談会 歴史

福知山史談会とは、福知山の歴史を語り継ぐための組織です。福知山史談会では、福知山の歴史を語り継ぐための組織です。福知山史談会では、福知山の歴史を語り継ぐための組織です。

城などをもつてその地域を支配していた人々です。また当時の支配者は個人の寺も持ちました。つまり氏寺です。江戸時代になって、キリスト教を禁じるために宗門改を行い、すべての人が檀那寺を持つようになりまし。それは戦国時代のお寺とはまったく違

つくられた 逆臣イメージ

富士原 今から100年前の社会もわからないことが多いのですから、500年前という、全く想像も

できないことでもあるのでしようね。私は明智光秀といっても由良川の治水工事と「明智藪」といわれる堤防のこと

されまし。今でいう助産師を育成する学校のはじまりです。54(昭和29)年、36年間続いた助産師の養成を打ち切り、新たに福知山厚生学院として看護師の養成をはじめまし。これまでに1300人を超える看護師を輩出し、地域医療に大きく貢献したと考えています。

福知山医師会付属看護学校は「働きながら学んで看護師の資格を取る」ことを利点にしています。いま現在、福知山医師会看護高等専修学校となつていますが、もともとは1918(大正7)年、福知山産婆看護婦学校として設立



吉河 正人 理事(司会)

今年も24人の准看護師が卒業し、18人が正看護師をめざし、今またがんばって勉強しています。今後、福知山の医療を盛り上げるために、福知山史談会では、福知山の歴史を語り継ぐための組織です。



注 医師会事務局は医師会看護高等専修学校内(★印)。

■ 医師不足・偏在問題の背景

高尾 私の場合、やむを得ず帰ってきたという感じ(笑)。しかし、地元で開業するのは子どもときからの夢ではありません。私は祖父の代から始まった3代目です。正直なところ、もし私が成績優秀であつたら、福知山にも夜久野にも帰ってこなかったらと思う。しかし、東京にいても賃金で生活するを得ない、将来はどうなるんだと考えるうちに、子どものときからの夢である田舎に帰ろうと決断したのである。



高尾 嘉興氏

富土原先生と二人三脚で改革に取り組み、次第に仲間が増えていきました。誤算としては、私が医師会長になってしまったことだけで、それ以外はずうまいです。たのびはないかと思いつたので、先ほど医師の偏在について指摘がありましたが、福知山は交通の要衝といわれながら、実際には単にJR山陰線、福知山線があり、赤字日本一のKTR(北近畿タンゴ鉄道)があるというところに過ぎません。京都縦貫道が福知山までつながれば、京都市内から車で1時間以内で来ることもできるようになります。そうなれば医師も福知山に来やすくなります。地元には衆議院議員で要職を歴任されている方がいますが、地域のことをもう少し考えていただけないかなと感じています。



牧野 吉秀氏

富土原 ここにいるみんなが継承者というのは、非常に重要なフアクターだと思います。たまたま、新規に開業するとなると、どうして開業の際の借金を返済することに気をつけているのか、まいたちで診るようになってい

■ チーム医療とは

吉河 牧野先生は、心臓血管外科医として勤務の後、帰ってこられました。ご意見はいろいろありますが、介護に関してはよくなっています。牧野 私はいつも「よろず屋」というつもりでやっています。最初は眼科の薬を少し置いていた程度でしたが、今ではたくさんあり、なぜ自分が緑内障を診なければならぬのかと思



富土原 正人氏

富土原 最近の症例研究会でありますが、ある大病院の患者さんを例に、対応方法について議論しました。まず、出席者の1人が「CGM(持続血糖モニター)をやらせよう」と主張しました。一般病院で簡単にできるはず、患者さんや医師との患者さんとの間に意思の疎通があれば、解決できると思っています。高尾 最近、「多職種連携」とよく言われますね。しかし、私はその前提に医師同士の連携がなければ、多職種連携もまづいかならないと思います。

多いときは毎日20人くらい訪問診療に行っています。毎日大変でしたが、介護保険制度が始まって以降、ずいぶん楽になりました。介護保険制度自体さまざまな問題はあるのですが、介護に関してはよくなっています。救急病院に送った患者さんが戻って来られたときは、こっぴどい叱りかきと診なければいけません。こちらで紹介した患者さんが受け入れ先の病院で何らかのトラブルになっても、開業医とその患者さんとの間に意思の疎通があれば、解決できると思っています。高尾 最近、「多職種連携」とよく言われますね。しかし、私はその前提に医師同士の連携がなければ、多職種連携もまづいかならないと思います。



渡邊 功氏

富土原 病院の場合、たとえば胆石症で、ある期間入院すると

あるくらいです。それ以外は少数ですが、開業する人は少ないでしょう。病院勤務医はほとんどいません。この地理的要因はものすごく大きい。そういう現実がある中で、どう確保していくか。府の担当者にはいつも言っているのですが、「交通のアクセスをよくして下さい」につきます。京都市内に住みながら福知山で働けるようになれば、北部の医師問題は解決できるのです。行政には、実際に北部で医療にかかわっている人間の意見にも少し耳を傾けてほしいと思います。吉河 現場の声が行政に届かないというのは他の問題でも言えることかもしれません。先ほど高尾先生は、東京だったら助かる命が福知山では助からないという状況だけはあるなという思いでやってきました。逆

# 私のすすめるナガラロコモ体操

宇田 憲司 (宇治久世)

高齢者は、転倒100回にも「歯・目・足と弱るに任せ」1〜2回骨折するといわれている。自分もいつに還暦を過ぎ、今年の誕生日がくれば、更に5年が経過する。転倒骨折などは益々予防したい。特に、大腿骨近位部骨折では、治療後も半数が1段階、半数が2段階、平均1・5段階移動能力が低下する。ちなみに、運動器疾患を原因として要介護状態となるものは、骨粗鬆症とそれに関連する骨折11%、関節疾患9%、脊髄損傷2%など、4〜5分の1を占める。「高齢者」への仲間入りは回避できずとも、せめて、これら運動器の障害を予防して、活動力を落とすことなく、精神的・肉体的な若さを維持し続けたい。これまで

## 体力・気力の充実求め日々努力

高年齢者は、転倒100回にも「歯・目・足と弱るに任せ」1〜2回骨折するといわれている。自分もいつに還暦を過ぎ、今年の誕生日がくれば、更に5年が経過する。転倒骨折などは益々予防したい。特に、大腿骨近位部骨折では、治療後も半数が1段階、半数が2段階、平均1・5段階移動能力が低下する。ちなみに、運動器疾患を原因として要介護状態となるものは、骨粗鬆症とそれに関連する骨折11%、関節疾患9%、脊髄損傷2%など、4〜5分の1を占める。「高齢者」への仲間入りは回避できずとも、せめて、これら運動器の障害を予防して、活動力を落とすことなく、精神的・肉体的な若さを維持し続けたい。これまで

「歯・目・足と弱るに任せ」や重い仕事が困難である、くもつとダイナミックにもや7項目をチェックする。内一つでもあれば、「ロコモティブシンドローム」かと疑われる。開眼片脚立ちテストをして15秒以上できないければ、更に怪しくなる。自分は1993年8月に右股関節部に骨髄腫癌骨移植術を受け、このあと、大腿四頭筋訓練のスクワットの説明に移るが、男性には、小水時にほおと立っているだけでななく、その間少し膝を曲げ続け、ナガラスクワットを推奨している。それが、継続的にやりやす

## 平和の賞味期限

1945年太平洋戦争終結後の平和は、国民の皆様のご努力により現在まで維持されてきたが、北方領土、竹島、尖閣諸島問題など近隣諸国との関係悪化により、個人的に真剣に平和を存続させることについて考えてみた。

平和と戦争は反対の言葉であり、平和は善で戦争は悪と考え、この点は常識として定理であることに異存はないと思う。しかし、人として生きるに、基本的人権の侵害などにより、がまん限界を超えたと、個人としては周囲のとりなしがうまくいかなければ、1人で戦争しなければならなくなる。

今、健康の定義として身体的、精神的、社会的に健全である場合、WHOの定義ではそれよりも、疲れ、病気の原因の一つとしての人間関係がうまくいかない場合がある。

「死に至る病」という本があったし、神経があまり凶暴くない私は「気で死ぬ男」であったが、71歳の老齢になるまで生きて、無駄飯を喰ってきたと落胆する前に、学生時代、本屋でよく見かけたE・H・カー著『危機の二十年』(岩波)が図書館に残っているかどうか確かめ借りてきた。ハンディな文庫本になっていて、日付をみたところカー

92年は、コロナプスが新大陸を発見して500年の記念の年であり、私も一句だけ作った。

祈りの途 西航 海果 政次

(9)面からの続き) ですから言っている。しかし、みんなが包括化する、次に国は包括占拠を下げるでしょう。国として医療費を管理しやすくなるのです。

**高尾** 包括化の記事を読んだとき、疑問に思ったわけです。国は我々に良い医療、あるいは金のかかる医療をさせないよう、とにかく安上がりな医療にすることをばかり考えているのではないかと感じました。アメリカの保険制度がそうですね。医師は保険会社との契約通りにやらなければいけないという制度です。それがいやなら自由診療でやるしかなくなってしまいます。

「高尾」 現在の患者の窓口負担は3割です。ところが最近、金融庁はこの3割の部分を窓口で患者さんが支払うのではなく、民間保険会社が直接支払うことができるようにしようとしています。これは法律を変えなくても運用できると金融庁は言っています。そうなる場合、医療機関がその民間保険会社と契約しなくてはなりません。保険会社は当然少しでも安く支払いたいと考えますので、ある程度以下の診療を行う医療機関でなければ、契約してもらえない。患者さんは高い検査をやるような医療機関にかかっても保険会社から支払われないので、そういったところには行かなくなる。医療機関は患者さんに来てもらうため、保険会社と契約を結ぶために、保険会社が求める

「吉河」 現在の患者の窓口負担は3割です。ところが最近、金融庁はこの3割の部分を窓口で患者さんが支払うのではなく、民間保険会社が直接支払うことができるようにしようとしています。これは法律を変えなくても運用できると金融庁は言っています。そうなる場合、医療機関がその民間保険会社と契約しなくてはなりません。保険会社は当然少しでも安く支払いたいと考えますので、ある程度以下の診療を行う医療機関でなければ、契約してもらえない。患者さんは高い検査をやるような医療機関にかかっても保険会社から支払われないので、そういったところには行かなくなる。医療機関は患者さんに来てもらうため、保険会社と契約を結ぶために、保険会社が求める



明智光秀が合祀されている御霊神社(写真上) 看護学校のセシモニーなどで使われる医師会館(下)

「吉河」 現在の患者の窓口負担は3割です。ところが最近、金融庁はこの3割の部分を窓口で患者さんが支払うのではなく、民間保険会社が直接支払うことができるようにしようとしています。これは法律を変えなくても運用できると金融庁は言っています。そうなる場合、医療機関がその民間保険会社と契約しなくてはなりません。保険会社は当然少しでも安く支払いたいと考えますので、ある程度以下の診療を行う医療機関でなければ、契約してもらえない。患者さんは高い検査をやるような医療機関にかかっても保険会社から支払われないので、そういったところには行かなくなる。医療機関は患者さんに来てもらうため、保険会社と契約を結ぶために、保険会社が求める

「渡邊」 京都府保険医協会の成り立ちは、1949

**原典** 保険医協会の

「吉河」 京都府保険医協会の副議長を務められたことのある渡邊先生から、協会設立のいきさつ、それ以降の闘いについて最後に発言していただきました。今後とも関係団体とも協力してより良い保険医療のためにがんばってまいります。今日はありがとうございました。

92年は、コロナプスが新大陸を発見して500年の記念の年であり、私も一句だけ作った。

祈りの途 西航 海果 政次

# 患者から学んだ医療交流

吉中 丈志 (中京西部)

また医師になって5年目の男性、Aさん、Nさん、の駆け出しのころでした。Yさんと会いました。人目を避けるようにして来られたのを今でも覚えています。それがまわらず、言葉が聞き取りにくいのに驚きました。錐体外路症状が目立ち、明らかな麻痺がみられる人もいます。歩行もままなりません。驚いたのは年齢です。3人とも40歳代なのですが、外見はとて見ても10歳以上老いて見えます。

二硫化炭素といえは「CS<sub>2</sub>」と化学式はすぐに頭に浮かぶものの、その中毒とはどんな病気なのか、全く不案内です。手元にあった産業衛生関連の医学書から基礎知識を得て、まず現場に出向くことにしました。

二硫化炭素中毒(当時、眼底の微小血管腫が診断に不可欠とされていきました)と診断する事ができました。

専門家である先輩諸氏に協力してもらい、蛍光眼底、CTとMRI、脳の血液循環測定などを行い、慢性二硫化炭素中毒(当時、眼底の微小血管腫が診断に不可欠とされていきました)と診断する事ができました。

初めて死亡診断書を書いた患者さん、診断をつけ外科に転科して手術まで付き添った患者さん、等々たくさん心に残る患者さんはいらっしゃいます。その中で私の忘れられない症例は、研修医になって初めて受け持った患者さんです。病名は心外膜炎および心嚢水貯留でした。指導医と一緒にベッドサイドへ行き、自分が主治医であることをつげ、患者さんとの関係が始まりました。幸い病状は安定しており、ゆっくり理学所見をとり、考えることができました。教科書に記載

# 「耳を傾ける」大事さ実感

増井 明 (宇治久世)

初めて死亡診断書を書いた患者さん、診断をつけ外科に転科して手術まで付き添った患者さん、等々たくさん心に残る患者さんはいらっしゃいます。その中で私の忘れられない症例は、研修医になって初めて受け持った患者さんです。病名は心外膜炎および心嚢水貯留でした。指導医と一緒にベッドサイドへ行き、自分が主治医であることをつげ、患者さんとの関係が始まりました。幸い病状は安定しており、ゆっくり理学所見をとり、考えることができました。教科書に記載

入近い中毒患者が発生することになります。当然ながら労働者の怒りは燃え上がり、同国の民主化運動とも結びつきます。日韓の患者と家族、医師、弁護士、労働者同士の交流が始まりました。私が韓国の人道主義実践医師協議会のメンバーと会ったのはその頃です。彼らは政府保障を得て被災者のための病院を開設しました。昨年、協会の韓国視察で訪問したグリーン病院がそれです。

「子どもにキャッチボールをしてやる事ができなかった」、Aさんの述懐が結ばれます。労働者(当時)へ陳述に行く新幹線で「富士山をこんな形で見るのは…」、Yさんの奥さんのつぶやきが蘇ります。韓国の被災者にも同じ思いがあったに違いありません。

件はプラントはその後、中国(丹東市の工場)へ輸出され、今は北朝鮮にありまます。考えを深めるべき東アジアの戦後史が収斂している象徴のようです。うわついた成長戦略や医療ツーリズムではなく、人びとの国際交流、医療交流こそが大事なのだと、患者さんたちが教えてくれたのだと思います。

心揺さぶるドラマがあった勤務医時代を通じてこれまでに出会った症例には、喜びや悲しみもつれ合って覚えておきたいと思えます。

私はまだ学生時代、ポリクリで皮膚科に行ったとき出会った患者さんのことをお話しします。

私が担当することになった患者さんは18歳の女性です。その年の春大学に入学したため地方から出てきて一人暮らしを始めて1年足らずでした。

同性で年齢も近かったため医学生と患者さんという関係だけではなく同世代のお友達ができたような感覚で気軽に話すことができ、時間があれば何度も病室に行ったり一緒に病院内を散歩したりしてたくさんお話を

## 「忘れ得ぬ症例」

忘れ得ぬ症例が、私の胸いっばいに溢れています。その中で気づいたことについてみたいと思えます。

## 問診の大切さを痛感

私がまだ学生時代、ポリクリで皮膚科に行ったとき出会った患者さんのことをお話しします。

## 福光 眞一 (山科)

晩秋のある日、いつも無表情のKさんが、診察室で微笑みながら「ありがとう、お話しします。」

## 去りゆく人の「挨拶

心揺さぶるドラマがあった勤務医時代を通じてこれまでに出会った症例には、喜びや悲しみもつれ合って覚えておきたいと思えます。

## 磯部 博子 (宇治久世)

私がまだ学生時代、ポリクリで皮膚科に行ったとき出会った患者さんのことをお話しします。

## 磯部 博子 (宇治久世)

私がまだ学生時代、ポリクリで皮膚科に行ったとき出会った患者さんのことをお話しします。

またまSさん宅の前を通過しました。ドラマのワンシーンのようですね。こんなこともありました。研修医時代に担当していた末期癌のNさんが、死の数日前、雷鳴とどろき閃光走る深夜の暗い病室で、一枚の宝くじを私に手渡したのです。後日発表された番号を確認すると、なんと4桁がそろって数千円の賞金が当選しているではありませんか。さすがにこの時は少々背筋が寒くなりました。

この世を去りゆく人の中には、何か超常的な電流が湧き上がるのでしょうか。渾身の力を振り絞って、愛しい家族や世話になった方々に、最後の挨拶をかわすのではないかと。そして命のランプを消して、自身の物語を完結するのでしょうか。

私に驚きませんでした。人は生かされてきたと、心は少々背筋が寒くなりました。

末期癌で自宅療養されていたSさんのことです。私の母親とほぼ同じ歳で、お元気な頃は「先生、風邪ひかないようにね、無理はダメよ」と息子のように気遣っていたことができました。桜が散りゆく晴れた日の午後、久しぶりに山科周辺をサイクリングしていた、た

またまSさん宅の前を通過しました。ドラマのワンシーンのようですね。こんなこともありました。研修医時代に担当していた末期癌のNさんが、死の数日前、雷鳴とどろき閃光走る深夜の暗い病室で、一枚の宝くじを私に手渡したのです。後日発表された番号を確認すると、なんと4桁がそろって数千円の賞金が当選しているではありませんか。さすがにこの時は少々背筋が寒くなりました。

この世を去りゆく人の中には、何か超常的な電流が湧き上がるのでしょうか。渾身の力を振り絞って、愛しい家族や世話になった方々に、最後の挨拶をかわすのではないかと。そして命のランプを消して、自身の物語を完結するのでしょうか。

# 訪問診療あれこれ

## 「自宅で安心」めざし バイクで訪問診療

北村 裕展 (西京)

少子高齢化で地域では、  
 独居老人や高齢夫婦、また  
 居間独居老人が急増してい  
 ます。右京区より分かれた  
 西京区も30年以上が経ち、  
 高齢化が進んでいます。特  
 に洛西ニュータウン地区  
 は、近隣都市のベッドタウ  
 ンとして誕生したため、急  
 速に高齢化しています。  
 西京区には各班ごとに立  
 派な病院があり、開業医も  
 120件以上の医療機関が  
 あります。医療面ではかな  
 り充実している地域です。  
 しかし、近年入院期間の短  
 縮などにより、すべてを在  
 宅で吸収するには無理があ



愛車のバイクと

ります。多くは3カ月ごと  
 に病院を転々したり、介  
 護療養型医療施設、介護老  
 者・脊柱管狭窄症患者な  
 ど、通院できな  
 い患者が地域に  
 は多数おられま  
 す。

住み慣れた自宅で医療・  
 介護を受けたいと願う人々  
 も多数います。終末がん患  
 者・脊柱管狭窄症患者な  
 ど、通院できな  
 い患者が地域に  
 は多数おられま  
 す。

合議体で介護度の会議をし  
 ています。金曜日は地区医  
 師会の理事会があり、木曜  
 日や土曜日に振り替えるこ  
 とがあります。

また、洛西高校や京都経  
 済短期大学の学校医もして  
 おり、しばしば健診等に出  
 かけています。とにかく午  
 後は認知症対応ダイヤサービ  
 スです。

月曜日9件、  
 火曜日0件、水  
 曜日8件、木曜  
 日3件、金曜日  
 17件、土曜日3  
 件、訪問診療に  
 行っています。

火曜日はロータ  
 リーの後、保険  
 医協会の仕事が  
 あり、木曜日は  
 何年か前に、医師自動車  
 連盟の会報に吉河先生のお  
 車を紹介されているのを見  
 て、まだ先生を存じ上げて  
 いない時でしたので、在宅  
 医療を担うのにそこまでし  
 ているすごい先生がいるも  
 のだと驚いたものです。救  
 急車一歩手前の装備にこ  
 ちらあねばならないのかと思  
 いもしたものです。ただ、  
 運転が上手でなく、今の車  
 でもあちこち擦って傷だら  
 けにしているのに、あの大  
 きさではそれどころでな  
 く、また、往診に行くこと  
 の場合路上駐車をするの  
 で、あれでは目立ちすぎる  
 と、そこまではない理由ほ  
 かり考えて、日々が過ぎて  
 います。

CVポートを付け退院  
 されたUさんや、経鼻栄  
 養し、その後胃瘻を作った  
 Yさん。在宅酸素療法を  
 しながら生活されている  
 Nさん。認知症で食事を  
 とらないIさんなど、多  
 種多様な疾患をもちながら  
 自宅で安心して医療・介護  
 が受けられる、そんな社会  
 にしたい。

「ハチドリのおとすく」。  
 南米地方で昔から伝わって  
 いる物語です。ハチドリは  
 鳥類の中で最も小さい鳥で  
 す。体重も数十グラムで、  
 水のしずくを一滴ずつ運  
 び、燃えさかる火に落ちてし  
 ていました。動物たちはそ  
 れを見て「そんなことをし  
 て一体何になるんだ」と笑  
 いました。クリキンディは  
 「私は、私にできることを  
 しているだけです」とこ  
 う答えました。

## 車内のものがどんどん増えて

塚本 忠司 (西京)



車内はものごっつい



積載物を並べてみると…

が、以前お伺いしていたお  
 宅では、「ここに停めて下  
 さい」といわれたのが、お  
 家の前の400坪はあろう  
 かと思われる一角に、自家  
 用車を止める1台だけコ  
 ンクリートが打ってある空  
 き地ということがありまし  
 た。また、農家で、お家の  
 所まで入ると場所は広いの  
 に、そこに至る道が狭く、  
 自動助手席を使ったのは  
 患者さん数人だけ

## 三代目が日々活躍

吉河 正人 (福知山)

在宅医療の推進が叫ばれ  
 ている。  
 私の住んでいる過疎地で  
 は、公共交通機関が整って  
 いない上に、交通弱者であ  
 る高齢者が多く、ずっと以  
 前から当たり前のこととし  
 て患者に赴いている。  
 1992年に田舎に帰っ

て間もなく、「近所のおば  
 あさんが転倒して動けな  
 い」とのことです。往診した。  
 下肢の骨折が疑われ、  
 X・P診断の必要ありと  
 判断した。当時マイカーと  
 して使っていたワンボックス  
 スワゴン(トヨタハイエ  
 ス)の座席をフラットにし  
 て、荷物の目隠しボード  
 を担架の代用に使い、自院  
 まで搬送した。なかなか大  
 変だったので、仕事用車を  
 更新する際に、一人でも操  
 作可能なストレッチャー搭  
 載を条件に改造を試みた。  
 当時、今では一般的な

非業の死を遂げた二代目  
 から、使える装備品(スト  
 レッチャーとその架台・酸  
 素ボンベホルダー等)を引  
 き継いでデビューしたの  
 が、現役の三代目である。  
 車種はグレードアップして  
 日産エルグランド。スペー  
 ス、パワーには大満足であ  
 るが、時代に反する燃費の  
 悪さに悩むこの頃である。

4WDで5ドアのミニバ  
 ンがなく、車種の選択に苦  
 労した思い出がある。初代  
 は日産テラノ。室内高が低  
 く、点滴をした患者さんの  
 搬送には不向きであった。  
 待望の4WD・5ドア  
 のミニバンが発売され、二  
 代目を務めたのは日産セレ  
 ナ。コンパクトボディで  
 重宝したが、2004年に  
 襲来した台風23号の大洪水  
 で水没し、やむなく廃車と  
 相成った。

非業の死を遂げた二代目  
 から、使える装備品(スト  
 レッチャーとその架台・酸  
 素ボンベホルダー等)を引  
 き継いでデビューしたの  
 が、現役の三代目である。  
 車種はグレードアップして  
 日産エルグランド。スペー  
 ス、パワーには大満足であ  
 るが、時代に反する燃費の  
 悪さに悩むこの頃である。

自動助手席を使ったのは  
 患者さん数人だけ



三代目・エルグランドと



充実の車内装備  
開戸前(左)と後(右)



後部にはストレッチャーを

後部にはストレッチャーを

自動助手席を使ったのは  
 患者さん数人だけ

自動助手席を使ったのは  
 患者さん数人だけ



あちこち擦って  
傷だらけ

### 開業医向け経営対策セミナー

医師の相続対策はいつやるの?『今でしょ!』

日時 9月5日(木) 午後2時~4時  
 場所 京都府保険医協会 会議室  
 講師 税理士法人日本経営 資産税事業部部長  
 税理士 座間 昭男氏